

# 日本における高齢単身女性の生活環境

## —その課題と支援策—

谷脇隆成

### 要旨本文

現在日本は急速に高齢化が進んでいる。人口の4人に1人が高齢者であり、高齢者人口の21.1%が高齢単身女性である。高齢単身女性は主に年金を収入源として生活している。

日本の高齢単身女性は豊かな老後生活を送ることができているのであろうか。生活実態に触れ、現在起きている問題や解決に向けての課題と支援策を研究した。

現状として、多くの高齢単身女性の生活は年金が足りず、困窮しており貧困率も高くなっている。高齢単身女性が安定した生活を送るためには年金制度を見直すことが必須である。日本の年金制度は働き方、ライフコースの選択に影響を与えない一元的な制度に改革すべきである。諸外国でも安定した年金制度を目指し、幾度となく改革が行われた。ただし、改革には長い年月がかかる。現在、生活に困っている高齢単身女性は様々な支援を受けることができることがわかった。経済的に困窮し、日常生活に支障が生じた場合は社会福祉協議会やNPO法人を介し、公的制度を利用し、生活を立て直すことができる。しかし、支援制度は申請主義であるため、高齢単身女性は救済制度や福祉制度があることを知り、積極的に利用することが必要である。

高齢単身女性の安定した生活を実現するためには、年金制度の改革と支援制度を充実させることである。また、高齢単身女性本人が老後を視野に入れ、生活保全のための備えをし、孤立を防ぐことが大切となってくる。必要なときに支援制度を利用し、個人の尊厳を保ちながら豊かな老後生活を継続していくことが非常に重要である。